

新型コロナウイルス感染予防対策ポリシー

▶ 基本方針

受診者の皆様が安心して健康診断をご受診いただくため 及び受診者様と医療従事者の感染を防ぐため、スタッフは体調管理及び手指消毒等に努めるとともに、施設内の換気経路の確保及び消毒を徹底する。

▶ 健診受付

- 受付前が密にならないよう、床に待ち位置の足形を貼りソーシャルディスタンスを保つ
- 来院時の体温測定・問診確認
- 受診者様のマスク着用義務
- 受診者様へ手洗い、手指消毒を促す

▶ 2F 健診フロア

- 受付前が密にならないよう、床に待ち位置の足形を貼りソーシャルディスタンスを保ち、スタッフも密にならないよう立ち位置に注意する
- 常に窓を開け換気、または1時間に2回以上の換気
- 各検査室にてサーキュレーターを活用し強制換気
- 待合室の椅子の向きを揃え、向かい合わせを避ける
- 受診者様同士の接触を避ける（1人用の椅子に揃え、3人掛けは中央に座らないよう注意書掲示）
- 受診者様とスタッフが対面する検査には飛沫感染防止のシールドカーテンを設置
- 診察時 場合によってフェイスシールドを着用し、受診者様に使用するタオルを毎回交換
- 滞在時間の短縮（ドック結果説明は原則実施なし・受診者様の休憩室は椅子を置かず飲み物のみ利用）

▶ 共有部分の消毒

- ロッカー、サンダル、鍵を受診者様のご利用毎に消毒
- 受診者様が使用するネックストラップ（番号札）は、使用后ホルダー部分と紐の消毒
- 階段の手すり、ドアノブ、椅子、休憩室のテーブル、給茶機のボタン類等を最低1時間毎に消毒

▶ その他

- 新聞、雑誌の撤去
- ゴミ箱には毎日袋をセットし、袋ごとゴミを廃棄

▶ 各検査スポット

身長・体重測定

- 飛沫感染防止のシールドカーテンの設置
- 測定後、使用したメジャーの消毒
- 健診システムのタブレット画面・タッチペン等の消毒

視力・血圧測定

- 飛沫感染防止のシールドカーテンの設置
- 受診者様を呼び入れたら手指消毒をしていただく（血圧測定側の前腕も）
- 検査毎に視力計・血圧計の消毒
- 健診システムのタブレット画面・パソコンマウス・キーボード・タッチペン等の消毒

採血検査

- 飛沫感染防止のシールドカーテンの設置
- 採血するスタッフは手指消毒の徹底・手袋の着用
- ビニールシートの上で採血する
- 止血ベルトは使用せず、受診者様ご自身で採血部位を押さえていただく
- 採血終了後、ビニールシートと駆血帯の消毒
- 採血ベッドの布カバーと枕を外して使用し、検査毎の消毒

心電図検査

- 飛沫感染防止のシールドカーテンの設置
- 検査毎に胸部・四肢電極、ベッドの消毒

聴力検査

- 検査毎にヘッドホン、応答ボタンの消毒
- 検査室の扉の開閉は技師が行う（未使用時は開放させておく）
- 口頭での検査説明を簡略化し、説明パネルを掲示

眼底・眼圧検査

- 飛沫感染防止のシールドカーテンの設置
- 検査毎にあご受け、額乗せ部分の消毒
- コンタクトケースを提供する場合は使い捨てを利用

超音波検査

- 検査毎に検査機器の消毒
- 検査毎にベッド消毒または必要に応じシーツの交換

肺機能検査

- 飛沫感染防止のシールドカーテンの設置
- 手袋、フェイスシールドを着用し検査
- 検査毎に呼吸管の消毒
- マウスピース（フィルター含む）、ノーズクリップは使い捨てを利用
- 口頭での検査説明を簡略化し、説明パネルを掲示
- サーキュレーターを活用し強制換気

胸部レントゲン・骨密度検査

- 検査毎に撮影台および撮影装置の消毒
- 撮影室の扉の開閉は、できるだけ技師が行う
- 髪留め・ゴムを使用した場合はその都度消毒
- 受診者様には、感染リスクを抑える動線確保のため、胸部 XP 及び骨密度検査後に胃部 XP がある場合は、操作室を通過しないで待合室側の扉から入室していただくよう案内



- 撮影時以外の室内の換気、および接触部分の消毒

胃透視検査

- 受診者様には、感染リスクを抑える動線確保のため、胸部 XP 及び骨密度検査後に胃部 XP がある場合は、操作室を通過しないで待合室側の扉から入室していただくよう案内
- 発泡剤を飲んでいただく際、技師はゴーグルもしくはフェイスシールドを着用
- 受診者様にはマスクを外さずに、少しずつするようにバリウムを飲んでいただき、バリウムをお飲みいただいた後はマスクを着用して検査を行う
- 検査終了後、1人ずつ撮影台天板・手すりの消毒
- 受診者様が退室する際も待合室側の扉から案内（※案内する助手が透視室の扉を開ける）
- 女性で下着類を入れる袋等を使用した時は、袋はその都度廃棄
- 撮影時以外の室内の換気、および接触部分の消毒
- 検査毎に腹部圧迫用のクッションの消毒

マンモグラフィ

- 受診者様には検査室に入る前に、アルコールで手指消毒していただく
- 撮影時技師はゴーグルもしくはフェイスシールドを着用する
- 検査毎に装置等の消毒
- 撮影時以外は撮影室の扉を開放し換気に努める
- 操作室はストッパーを使用し、常に扉を少し開け換気
- 髪留め・ゴムを使用した場合はその都度消毒
- 空気清浄機の温度・湿度を常に管理し、フィルターは1週間に1度の定期清掃を徹底
- 撮影時以外の室内の換気、および接触部分の消毒

内視鏡室

日本消化器内視鏡学会の「新型コロナウイルス感染症への内視鏡検査について」の提言を含め種々のガイドラインや指針に準じて万全の体制で検査を実施

- 飛沫感染防止のシールドカーテンの設置
- 定期的に換気
- 内視鏡の間診票を新型コロナウイルス感染症対応への内容に変更
- スタッフは専用スクラブ、サージカルマスク、袖付きガウン、手袋、フェイスシールドまたはゴーグル、さらにキャップ、シューズカバーを着用
- 検査毎に検査台のシーツ、枕カバー、タオル類は毎回交換し、使用した椅子や机、手すり等を消毒し、スタッフは手指から肘までの洗浄・消毒
- 全検査終了後に内視鏡室の最終消毒

保健指導・栄養相談

- 結果説明、保健指導等の実施に当たってはパーティションを設けて実施
- 腹囲・体重・血圧の測定器等について受診者毎に消毒
- 常に窓を開け換気、または1時間に2回以上の換気
- ドアノブ、テーブル、椅子等受診者様が触れる箇所を、定期的に消毒
- 健康相談室のテーブルを清拭できるように布製テーブルカバー上に透明ビニールクロスを敷き清拭

診察室

- 医師と健診者の間に飛沫感染防止のシールドカーテンを設置、医師によりフェイスシールドを着用
- 診察ベッドの布カバーを外し、バスタオルを広げた上に横になってもらう
- バスタオルは使用毎に交換し、ベッドは毎回アルコール消毒

健診フロア助手スタッフ業務

- 受診者様が使用するロッカーを消毒
 - ・消毒の際 更衣室に出入りさせていただく表示あり
 - ・ロッカーの使用時、隣同士にならないよう声掛け
 - ・ロッカー使用後カギを返却してもらったら、カギ、ロッカー内部、サンダルを消毒

外来

- 受付前が密にならないよう、床に待ち位置の足形を貼りソーシャルディスタンスを保つ
- 来院時の体温測定・問診確認
- 受診者様のマスク着用義務
- 受診者様へ手洗い、手指消毒を促す
- 看護師 チーム毎に分け外来診療業務にあたり、院内スタッフの感染リスクを最小化する
- 予防衣等の着用
- 発熱患者専用のユニットを設置しての対応（使用毎に消毒）
- 事前に体調不良等の問い合わせがあった際は、外来の状況を確認し医師確認のうえ、電話での診察が来院していただくかを受診者様へ案内する
- 定期的を受診されている受診者様に対し、電話再診による処方箋の発行（通院回数を減らし感染予防）
- 待合室での待機時間短縮のため、採血結果説明を次回にさせていただく（緊急時及び希望者は当日説明）
- 飛沫感染防止のシールドカーテンの設置

- 待合室椅子の使用制限を設けソーシャルディスタンスを保つ
- 外来受診者と健診受診者（レントゲン待ち等）の待合をパーティション設置し区別
- 午前・午後の診療終了時のほか、待合室の状況を見ながら消毒の徹底
- 採血、注射時、アルコール綿は個包装の物を使用し、止血バンドは使用しない（ステプティーターにて圧迫止血）
- 駆血帯、トレー、採血用まくら等備品の消毒
- 布シーツ、枕カバーの廃止
- 共有部分の消毒等
 - ・換気の徹底（常時換気または 30 分に 1 回換気）
 - ・ゴミ箱には毎日袋をセットし、袋ごとゴミを廃棄
 - ・階段の手すり、トイレの取っ手、更衣室のドア、給水機のボタン、布張り以外の椅子の座面、その他共有部の消毒